

第7回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

1 日時・会場

平成27年3月18日（水） 14:00～15:20
厚別区役所3階検査室（厚別保健センター内）

2 出席者（敬称略）

成田 義則（小学校長会厚別支部）
本望 由佳（厚別区PTA連合会）
和田 政男（厚別警察署刑事・生活安全課）
齋藤 歆子（厚別区中学校長会）
新谷 拓朗（厚別区民生委員児童委員協議会）
松山 瑞穂（厚別中央地区まちづくり会議）
藤島 敬久（厚別南まちづくり会議）
押田 純（厚別西地区まちづくり会議）
長谷川雄助（厚別東地区まちづくり会議）
齋藤 孝幸（北海道コカ・コーラボトリング(株)）
俵谷 真二（北海道コカ・コーラボトリング(株)）
大原 治 厚別区市民部長
藏田 忠朗 厚別区市民部総務企画課長
嶋田 愛一 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係長
柴田 肇 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係

3 会議内容

【1】第1回会議以降の各団体の取り組み状況について

前回話題になっていた各小学校の帰宅時間の違いについて、小学校長会厚別支部に持ち帰り共通理解を図った。少なくとも同じ地区・エリアの学校については問題意識を持つよう働きかけを行った。

【2】厚別区防犯研修会の開催結果について（来年度の方向性の検討）

平成27年3月6日に新さっぽろアークシティホテルにて厚別区防犯研修会を行った。みなさまのお声掛けもあり、約70名にご出席いただき有意義な議論ができたと思う。

【3】緊急性の高い不審者情報の共有方法について

- ・ 不審者を見つけた場合の情報は第一に学校に入るようで、父母の間でも情報共有さ

れているようである。また、警察に連絡が入った時も学校に情報提供し、そこから父母に伝わっていることが確認できた。また、不審者を発見した人が警察に連絡しないで、学校にだけ連絡していることもあることがわかった。

他に、不審者情報等についてまちセンに連絡している学校が若干あることもわかった。その場合は、まちセンから町内会の防犯パトロールに連絡している。ただし、まちセンまで情報提供されず、学校又は父母の間で情報が留まっていることの方が多いようである。町内会に動いてもらうには、どうやってまちセンまで情報を入れるかというところが課題になってくると思う。そのような点についてご議論いただければと思う。

- 厚別東では不審者情報があった場合、その情報がどのように流れてくるか図にして調べてみた。そうすると、情報はまず小学校に入り、そこから警察に行ったりしてまちセンに入り、そこから各町内会の会長に連絡が入る。私のところにはFAXが入るが、FAXは月～金のまちセンの勤務時間内だけに入り、土日になると学校からまちセンに情報は入らない。警察に情報が入ったとしても、警察も各町内会にいちいち情報は流せないと思う。そこで私の方で提案したいのは、情報が入った場合学校からまちセンを越えて直接各町内会長に流してほしいと思う。警察も遠慮なくFAXで流してほしい。

それと、私の携帯電話に警察から不審者情報がメールでいっぱい入ってくるが、学校や警察に通報した情報を、いかにして地元の防犯活動をしている末端のメンバーに連絡してもらえるかの通信網を確立した方がいいと思う。実際に末端で動いている人に直接情報を伝達することが重要であり、受けた方で青パトを出動させるなどできる。うちの方では「厚別東学校区不審者緊急情報連絡体制」を作っているが、これはまちセン経由なので使い物にならないと思っている。

不審者情報については、一般人の感覚だといちいち警察に言うまでもないということだと思うが、何でもいいからまず警察に連絡して、警察が受けたらそれを町内会長なりにFAXやメールをするというシステムを構築していただきたいと思う。区役所にも協力をお願いしたい。

- 情報を直接町内会長にということであるが、学校の場合はスクールゾーン実行委員会があり、町内会長も多く出席していただいているので伝えやすい。それと、学校間の場合は、厚別区内で不審者が出た場合は学校全てに連絡がまわる。その場合、事案が起きた場所からの距離で、学校によって対応が違ってくる。それも加味して、なんでもかんでも町内会長に連絡するのも大変だと思うが、それも含めて考えていく必要があると思う。例えば、最近大谷地で事案があったが、線路より手前の学校は保護者引き取りの対応、線路より向こう側の学校では集団下校であった。

質問だが、中学校ではスクールゾーン実行委員会はあるのか。冬の除雪問題など、交通安全について町内の人とコンタクトを取る機会など無いのか。

- 中学校は無い。中学生の場合は判断力があるので、不審者が近所に出た場合は注意するが、小学生とは一律にはできないと思っている。ただし、健全育成推進会という

中学校単位で、防犯等を含めて町内会の人と意見交流する会は1年に1回ある。

- ・ 厚別東では消火栓除雪に中学生100人以上参加している。

【4】構成団体プロフィールの更新について

現在厚別区ホームページに公開されている構成団体プロフィールは2012年5月1日現在となっているため、今回更新したいと思っている。プロフィール中、「活動内容」「防犯上の取り組み」などについては、みなさんにご確認いただき、今後は2015年3月18日現在ということでホームページにアップしたいと思う。

【5】第2次札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画の概要について

- ・ 先日の防犯研修会の直前に当計画は出来たばかりで、第一次の計画が策定されて4年が経過したので、今回改めて見直すということになった。(資料3に基づき、子どもの安全に関係の深い項目について説明)
- ・ 今はDVストーカーが非常に多い。最近はDVストーカー対策班という係を道警本部にも作っており、毎日のように相談が来ている。

また、今年に入って特に2月以降は高齢者のオレオレ詐欺が多発している。警察署にも、高齢者宅に不審電話がきているという通報が毎日10件以上ある。一昨日でも区内郵便局で81歳の夫婦が800万円の定期を崩して下ろした。郵便局員が何に使うか問いただしたところ、緊急の用件で使うと返答され、下ろしたお金をそのまま12号線沿いの飲食店駐車場で詐欺犯人の受け子に渡してしまった。郵便局員にその時の話を聞いたが、被害者は何度説得しても納得しないようであり、その後息子の昔の携帯電話に電話して、息子が出てその時はじめて自分が被害に遭った状況に気付いた。これが今毎日のように市内で発生している。

今は“手渡し型”といって、振込先やゆうパックの送り先を警察が全部把握して潰したので犯人も受け取れなくなったため、東京に呼んだり、札幌市内に受け子を入れてチームになってやっている。何日か前にそのチームの者3人を確保したのだが、持っている携帯電話に被害者の番号が無かったことから、それ以上追及できなかった。主犯格が捕まらずたちごっこという状況である。どうもならないため、各金融機関に60歳以上で高額なお金を引き出そうという人がいた場合、全件警察に通報してくださいとお願いしている。

【6】平成27年度事業計画について

- ・ 事業計画については資料4のとおり。

資料5の地域安全マップについては、できれば多くの小学校に実施していただきたいということで、昨年に小学校長会の会議に参加して説明したが、その後、実施したいという小学校は無かった。現在実施している共栄小学校では、地域安全マップは総合学習ということで参観日に合わせて行うなどしているため、他の学校もなかなか調整が難しいのだと思う。

- ・ 私も3~4年前に共栄小学校の地域安全マップに参加したが、その時に他の小学校でも取り組んでいただけないかと提案した。調整が難しいのかと思うが、最初から大きな形で進めるのは困難だと思うので、小さい形から進めればいいのかと思う。実

際子ども達に付いてまわると、大人と子どもの目線が違うことがわかる。

- 子ども達があちこち分散して見て回るとなると、学校側も手が足りないのではないかと思う。その時に町内会の防犯の人などと一緒にやっていただくと、そこでも挨拶運動がスタートするので、是非とも町内会とタイアップしてやっていただけたらと思う。
- 当校では社会科で地域安全マップを作っており、各学校も作っていると思う。しかし、今の地域安全マップ作りの取り組みに付加価値をつけて行うよう、各学校に伝えていきたいと思う。

また、大人と子供の目線が違うという話が出たが、これは冬の交通安全のときも出ており、子ども達と一緒に歩かないかという話になった。そんなこともあったので、是非地域の方たちと一緒に活動を広められるように、私達も次の集会で伝えていきたい。

- 学校と地域が一緒に活動ということに関連して実施の手順についてだが、当町内会では区域内の学校との連携は良いが、活動が進んでいない。窓口はあるがお互いにつっこめない。例えば共栄小学校の場合は学年で地域安全マップに取り組んでいるが、学校の方からこの日にマップ作りを行うから町内会の人に手伝って欲しい、と言う申出を話し合える場面を作って欲しいと思う。
- 町内会で行うとしたら、夏休みや冬休みを活用することも一つの方法かなと思う。子ども達も自由が効くので、そのときに町内会の人たちも集まってもらって一緒に周るとか、冬も交通安全の危険個所の対応とか、幅を持たせてやっていくのも一つの方法かなと思う。現実的に町内会では防犯対策の予算を組んでおり、防犯訓練の費用負担も可能であるが、学校がやるにしてもお金がかかるので、町内会と一緒にやるのも一つの方法かなと思う。
- 東地区では夏休みに行った「ワイワイ夏フェスタ IN くりの木」では小中学生のボランティアが手伝ってくれるので、やはり夏休みを活用するといいいのかと思う。
- 学校教育の中で行うのと地域で行うのとでカテゴリーが違ってくると切り口も違ってくるので、学校の社会科で使っていた時数を総合的な学習の中に若干組み込んだり、行事にくっつけたりして一つの時間を作って、そこに町内会をお招きすることは学校としてできると思う。夏休みなどで子ども達が拘束されていない時に、参加を募ってこういうことやりますよと言った時の対応と異なるので、どちらか切り口を見つけていかないと実際は難しい。今あるカリキュラムの中で構成していった方が近道かなと思う。
- 子ども地域安全マップだが、恵庭市でもご勝手マップがある。DIGのマップではなく、子どもやNPOの人が見た視点のマップである。もし今回、いただいたマップがあれば、当社は自販機をたくさん所有しているので、マップを作成した小学校近郊の自販機に貼って啓蒙する協力ができる。自販機に貼ることによって子どもも興味を引くと思う。
- 中央地区では高齢者や障がい者を中心とした防災・福祉支え合いマップを作ってお

り、そこにうまく子どものこういう問題を含めたらいいと思った。

(文責：厚別区総務企画課地域安全担当係)